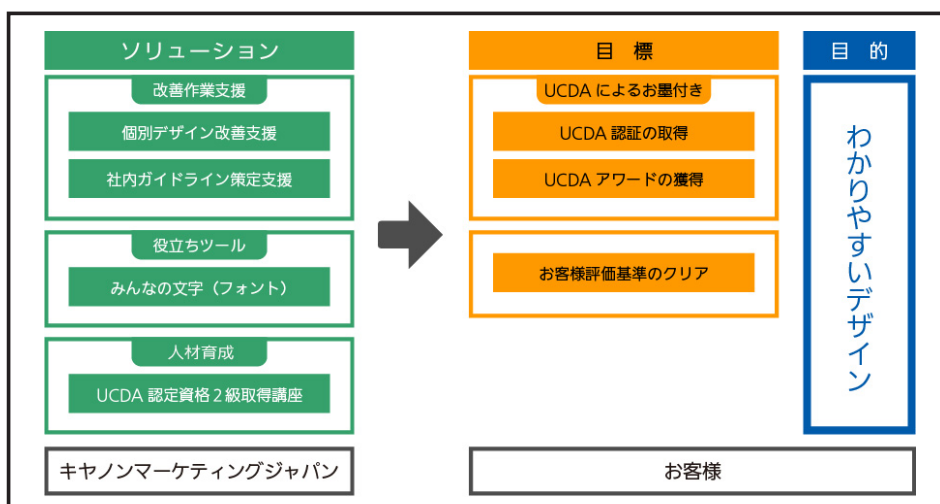


NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社

キャノン MJ の帳票ソリューションビジネスを強化 帳票の「わかりやすさ」を提供する「UCD ソリューション」を提供開始

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)は、帳票設計から出力運用までを構築する帳票ソリューションビジネスの強化を目的に、わかりやすい帳票をコンサルティングする「UCD ソリューション」の提供を2016年7月14日より開始します。基幹業務システムと連携した帳票ソリューションに加え本ソリューションを提供することで、企業や官公庁の更なる業務コストの削減を実現します。



■ UCD ソリューションの概要

キャノン MJ は1993年より帳票ソリューションビジネスを開始し、企業や官公庁を対象に「imageWARE Form Manager」を中核に、帳票設計や開発から出力運用までをトータルで構築するソリューションを展開してきました。近年、基幹業務システムのオープン化やクラウド化が進む中、高いセキュリティと業務効率化を実現する帳票ソリューションのニーズが高まっています。加えて、法改正による生活者保護や企業の説明責任が問われるようになり、帳票自体の「わかりやすい」設計やデザインのコンサルティングが求められています。

このような企業や官公庁の要望に応え、このたびキャノン MJ は、契約書や請求書などの帳票に加え、説明書やカタログ、チラシなどのドキュメントを対象に「UCD ソリューション」の提供を開始します。これにより、企業や官公庁は情報をわかりやすく生活者に提供でき、苦情や問い合わせなどを減らすことで大幅な業務コストの削減を可能にします。また、企業の顧客満足度の向上によりビジネス機会の創出にもつながります。

第三者機関の UCDA^{※1}は2009年に発足し、「わかりやすさ」の基準の策定やデザインの問題点を定量化しました。また、コミュニケーションツールやプロセスを審査・認証する「UCDA 認証制度」や帳票を評価することのできる「認定資格制度」を設けており、サービスや商品が高度化する金融業や自治体ではすでに認証の取得も増えています。

■ UCD ソリューションの特長

キヤノンマーケティングジャパンがご提供する UCD ソリューションでは、情報をわかりやすく発信するための各種メニューをご用意しています。

●デザイン改善作業支援

デザインを「わかりやすく」改善し「UCDA 認証」を取得するまでの活動、あるいはビジネス環境や既存デザインの傾向に沿った「デザインガイドライン」の策定を支援します。

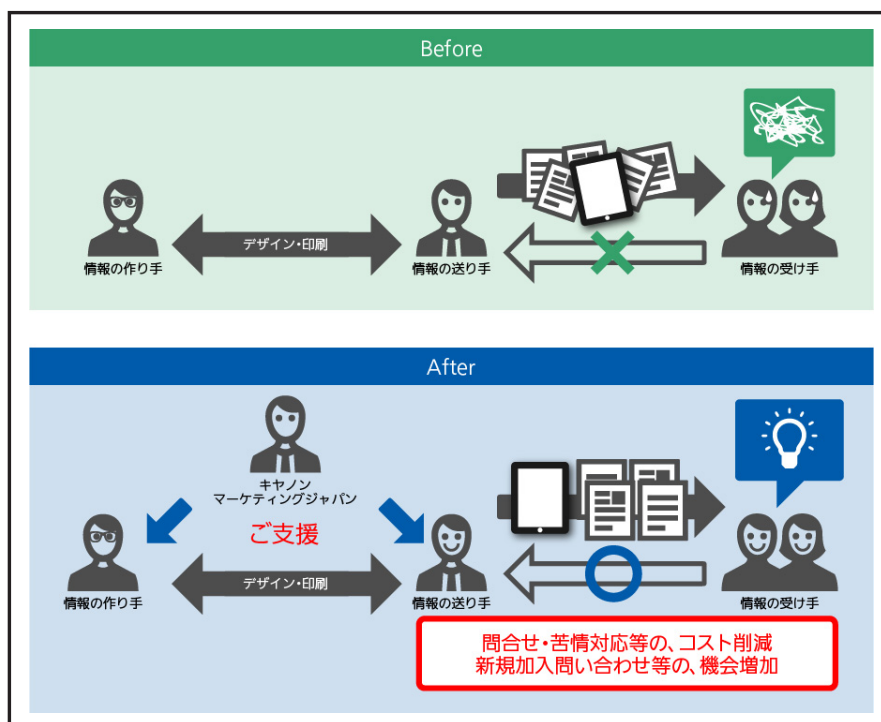
●支援ツール

デザイン改善のための重要な要素である「文字」について、UCDA が「読みやすさ」を認証した書体（フォント）を販売します。

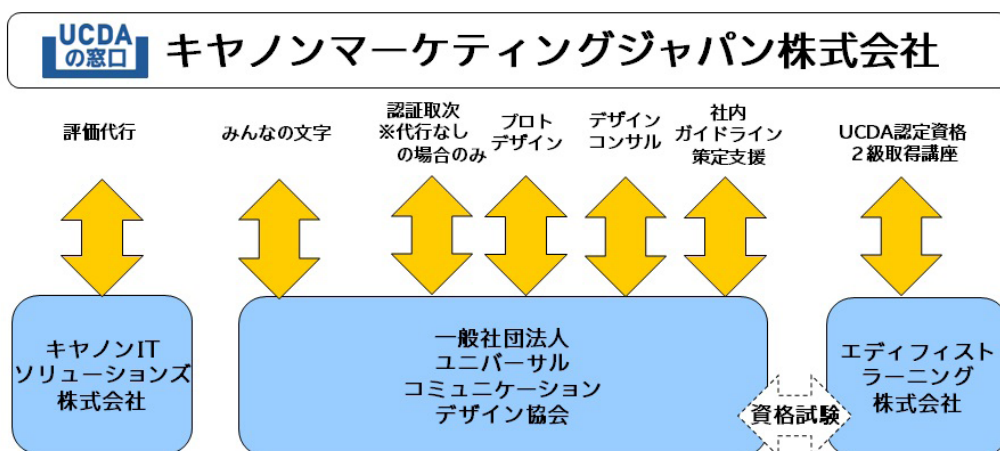
またデザインの「見やすさ」を各要素ごとに IT で判定するツールを開発・販売します（計画中）。

●人材育成

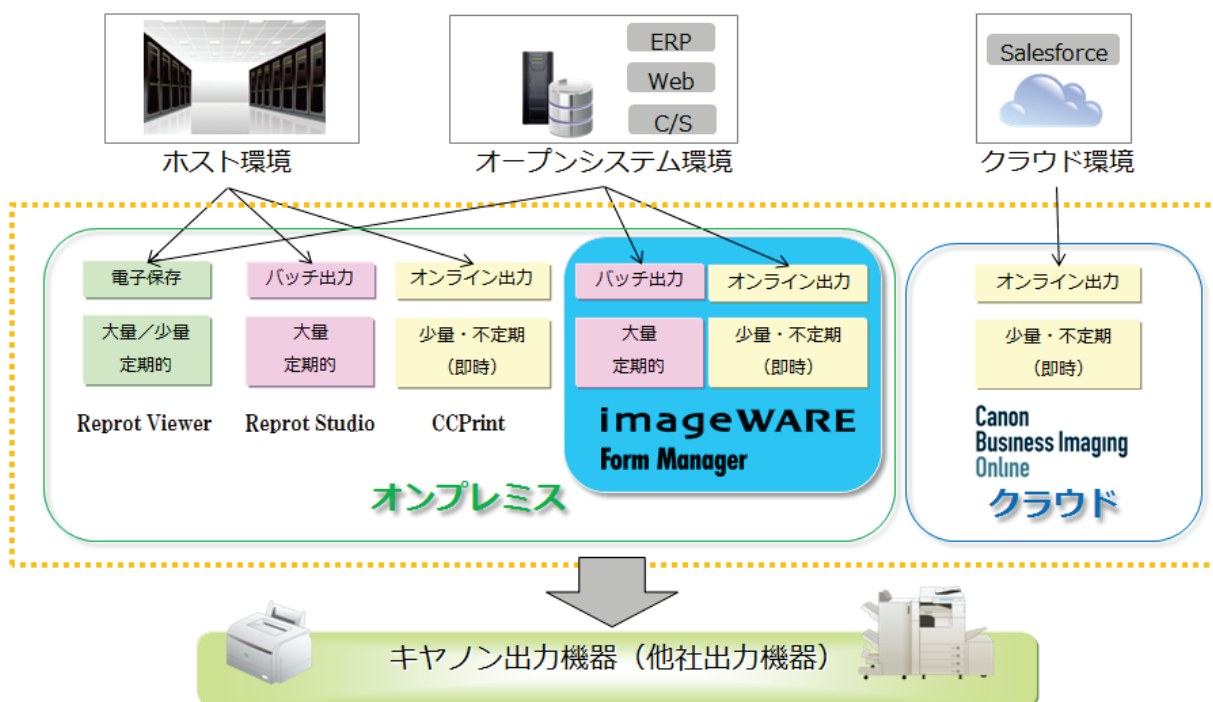
弊社グループのエディフィストラーニング株式会社が、教育認定校として「UCDA 認定2級講座&認定試験」を実施します。



■ 販売体制



■ キヤノンの帳票ソリューション



< imageWARE Form Manager の特長 >

- 多様な I/F を有し、企業の業務システムと連携して帳票を生成および出力を行います。
- 緻密さ・印字位置の正確さに、バーコードや画像など表現力豊かな帳票を生成する帳票システムが構築できます。
- プリンタ、複合機をコントロールする API を用意し、ユーザーニーズを満たす印刷システムが構築できます。
- 小規模から大規模のユーザーニーズに合わせた帳票印刷システムが構築できます。